

## 上庄をよくするつどい

### 1 基本データ

- 地区名 上庄地区
- 地区人口 3, 941人
- 地区世帯数 1, 062世帯  
(H27.1.1現在)
- 地区面積 28, 471㎡
- 地区の沿革

上庄地区は、32の集落（行政区）で構成されており、地勢的には市街地南部に位置し、日本百名山の1つ荒島岳のふもとで、東西約6<sup>キロメートル</sup>、南北約12<sup>キロメートル</sup>ほどの広さを有している。地域は、一級河川の真名川と清滝川が作り出した扇状地形で、稲作とサトイモの生産が盛んな農村地区となっている。



- 実施主体 上庄をよくするつどい

### 2 現状と課題

地区の特性として、学校区が当地区と同じであり、保育園、幼稚園、小学校、中学校がそれぞれ1園（校）ずつであること、また、以前JAが単独で存続していたことなどから他地区にはない地域の特異性や繋がりがあり、郷土愛も強い。

しかしながら、人口の微減、少子高齢化は当地区も進んできており、各集落の活力や地域全体の活力も停滞化してきている。

こうしたことから、一昨年度から、当地区では、地域住民自らが地域を今一度見つめ直し、地区の伝承や文化を再認識しその価値と魅力を高め、地域の活性化や賑わいづくりに繋がるような事業に取り組むこととし、地区の唯一の伝説である麻那姫伝説継承事業に取り組んでいる。

一昨年度は、麻那姫音頭の復活や麻那姫像の展示庫設置に取り組み、昨年度は、麻那姫感謝祭の開催をはじめ、伝説の紙芝居作成、また、ヨサコイ麻那姫の作成など、麻那姫伝説に纏わる多様な事業に取り組み、地区住民への伝説の周知と継承の意識付けを図った。

本年度も、この麻那姫伝説継承事業を継続し、更なる地域の賑わいと区民の絆、また、地域の活性化を図るため、麻那姫感謝祭の開催や麻那姫街道の案内看板設置などに取り組んでいくこととした。

### 3 事業の内容

麻那姫伝説継承事業は、本年度で3年目となり、地区住民には、これまで様々な事業やチラシ等の広報で周知を図ってきた。

本年度は、昨年度から始まった麻那姫感謝祭の充実と、事業当初から会員たちの思いであった麻那姫街道案内看板を設置することとした。昨年度同様、各種団体連絡協議会や実行委員会を立ち上げ、以下の事業に取り組んだ。

#### (1) 麻那姫感謝祭の開催

開催日：10月5日（日） 午前10時30分～  
(敬老会との同時開催)

参加者：約950名

麻那姫伝説を後世に継承し、麻那姫の遺徳を讃え、秋の収穫に感謝するため、昨年度から始まった麻那姫感謝祭を今年度も実施した。

今年度は、昨年度の反省を踏まえ、昨年度よりもより充実した祭りになるよう年明けから小委員会を立ち上げ、具体的な事業内容を検討していった。今年度は、当日は地区敬老会も同時開催されることもあり、携わるスタッフが両事業を共有できるよう合同実行委員会を立ち上げた。また、詳細な内容や部門別事業を検討していくための運営委員会や専門部会も立ち上げ、当日まで会議の他、祭りのための準備として、のぼりの設置など多くの作業に取り組んだ。



手作り衣装で麻那姫感謝祭に登場した司会者



麻那姫感謝祭実行委員会の風景



ヨサコイ麻那姫を披露する上庄保育園児



麻那姫感謝祭のぼり旗を立てる実行委員



麻那姫感謝祭の出店の様子

## (2) 麻那姫街道案内看板の設置

設置箇所：国道 157 号上庄中学校入り口附近



麻那姫街道と麻那姫に関連した名所を掲載した案内看板



上庄中入り口附近に案内看板・標語看板・展示庫が整備された

交付金事業の当初からの会員たちの思いであった、国道 157 号の下裾地係から麻那姫湖青少年旅行村までの街道を通称「麻那姫街道」と名付け、地区民のみならず観光客にも上庄地区を縦断する国道は「麻那姫街道」と呼ばれるよう案内看板を設置することとした。

案内看板には、麻那姫伝説の謂れのある箇所や麻那姫に関連する名所を掲載し、周知を図った。

## (3) 麻那姫マスコット人形の制作

麻那姫のPRは、これまで上庄をよくするついでにクリアファイルを作成しキャラクターをPRしてきたが、今回は、10 cm程度の大きさのマスコット人形を手作りで制作し、夏まつりや麻那姫感謝祭で販売することとした。

上庄地区出身の方に依頼し、6月と9月に計250体の制作をお願いした。

この手作りマスコットは、イベントの他、上庄小学校の全児童にも配布し、麻那姫伝説の周知と継承を図った。



手作りの麻那姫マスコット人形

## (4) ヨサコイ麻那姫衣装の制作

昨年度、同交付金でヨサコイ麻那姫の楽曲の制作を行い、麻那姫感謝祭等で上庄保育園児が披露したところであるが、園児たちの躍動感あふれる素晴らしい踊りに相応しい衣装を着せてあげたいとの要望があった。そこで公民館で自主講座を行っている洋裁クラブに依頼し、1着1着手作り制作をお願いした。衣装のデザインや配色等を決めるため、担当保育士とクラブの講師が何回も打ち合わせを行い、麻那姫や上庄、園児をイメージした衣装を作成した。



洋裁クラブ員の手作りのヨサコイ衣装



夏まつり会場に設置された麻那姫像等身代幕



完成した衣装でヨサコイを披露する園児



麻那姫感謝祭会場に設置された麻那姫像等身代幕

#### (5) 麻那姫像等身代幕の作成

昨年度から、麻那姫音頭を復活し、夏まつりや麻那姫感謝祭を会場で踊っているが、会場の雰囲気を出すために等身大の麻那姫像の看板等があるといいとの意見が多く寄せられた。麻那姫湖畔に建立している麻那姫像をもとに、等身大の幕を作成することとした。幕の設置でやはり昨年度とは会場内の雰囲気も違い、夏まつりや麻那姫感謝祭の麻那姫音頭の踊り時には参加者も幕を背に楽しみながら踊っていた。

#### (6) 麻那姫音頭の法被作成

昨年度、8月に開催される市の「結の故郷・小学生ふるさと芸能発表会」に、「麻那姫音頭」を披露するために法被30着を作成したが、法被数が不足し新たに今年度6着作成することとした。

今後も、この発表会は継続されるとのことであり、本発表会や地区の種々のイベントに法被で参加し、麻那姫感謝祭をPRしていきたい。



小学生ふるさと芸能発表会に出演した上庄小4年生



法被を着て麻那姫感謝祭に参加した上庄小4年生

その他に、毎年開催されている上庄小学校校内マラソンに今年度から麻那姫感謝祭実行委員会も共催し同会からも各学年優勝者を表彰し、小学生全員に麻那姫マスコット人形を記念品として贈呈し麻那姫伝説の周知と継承を図った。



麻那姫感謝祭実行委員会からマラソン大会優勝者への表彰

#### 4 事業の成果

一昨年度から麻那姫伝説継承事業に取り組んだことで、上庄地区に住んでいながら麻那姫伝説を知らなかった人も、事業に参加することにより、事業の意義と伝説を継承していくという意識付けができつつあると思われる。

麻那姫感謝祭は初年度の一昨年度よりも内容が充実し、雨天にも関わらず多くの来場者で賑わい、住民同士の交流の場を提供することが出来た。また、当初から会員たちの思いであった、通称「麻那姫街道」と呼ばれるような案内看板も麻那姫像展示庫や標語看板横に設置することが出来、麻那姫伝説に係る一体的なハード整備が出来た。

その他に、ヨサコイ衣装や麻那姫の等身大の幕作成など一連の継承事業で、地区の子どもからお年寄りまでが地区の伝承に触れることができ、地元上庄を愛する気持ちと誇りに思う意識が芽生えたのではないかとと思われる。

#### 5 今後の展望

麻那姫伝説継承事業は、今年度が3年目で軌道にも乗り、この3年間で多くの事業に取り組むことができた。

地区住民にも年々浸透してきており、先般の各種団体連絡協議会では更に次年度以降も取り組んでいくことが決定した。

次年度も3年目となる麻那姫感謝祭の開催をはじめ、伝説継承に関わる事業に取り組んでいきたいと考えている。

そのためには、地区住民へのさらなる周知と事業の参加、協力をお願いし取り組んでいきたいと考えている。